

令和3年第1回臨時会を令和3年2月5日に開催し、町提出の一般会計補正予算について審議を行い、賛成全員で可決しました。

# 審議結果 〈2月臨時会〉

賛成…○ 反対…× 欠席…欠 退席…退

(議長は採決に加わりません)

議案番号	件名と主な内容 (件名は一部省略しています)	議席番号													議長				
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13					
議案第1号	一般会計補正予算(第10号) …ふるさと寄附金返礼品1,000万円や、新型コロナウイルスワクチン接種に係る経費1,566万4千円、文化ホール補修工事363万円など合計3,703万4千円を追加し、補正後の予算を87億6,627万3千円とするもの。	可決 賛13・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

株式会社フォレストオート(十余三)  
戸森彰信さん  
航空機整備士の経験を活かし、  
スタッフ総勢6名で車の※リフトアップ、  
中古車販売、中古車輸出、自動車整備を  
している。

※リフトアップ…悪路での走行性を高めるなどの  
ために車高をあげること。

議会広報特別委員がインタビュー  
**わが町  
フロントランナー**  
case 10



「その道」をひた走る方々  
にお話しを伺ってみると、そ  
こには新しいまちづくりや町  
を元気にするヒントが…。

## 何をするかは自分次第!

～移住者として伝えたいこと～

戸森 彰信 さん

—多古町に移住したきっかけは?—  
元々は柏市に住んでいました。26歳の時に転職し、飛行機の整備士として成田空港で働くことになりました。最初は富里市に住んでいましたが、アパート代でガレージ付きの家が手に入ることに惹かれて、多古町に移住しました。

—多古町に移住してよかったことは?—  
10代の頃から授業そつちのけでアルバイトをし、古い外車に乗り始めました。多古町とその周辺では、渋滞も信号も少ないし、古い車にとってもやさしい環境です。1、2時間くらい走れば銚子、九十九里、内房や筑波山などへ行くことができ、旧車でドライブすることが好きな私にとっては最高の場所です。カーライフを楽しむための移住もありですね。ガレージ内のクルマたちも喜んでいてと思います。

—今の仕事をしていて、やりがいを感じる時は?—  
弊社オリジナルの軽バン・軽トラFAFリフトアップスプリングは、平成24年に千葉県ものづくり認定製品に選定され、森田健作知事より認定証の交付を受けました。全国各地へ通販で送ることが多いのですが、わざわざ北海道や九州からスプリングを取り付けるためにお越しになるお客様も多いです。お客様との会話

—今後の目標は?—  
旧い車や軽自動車ベースに次世代のカスタムを行う予定です。(詳細はまだ秘密です。笑) スマートタウン多古を目指したいと思っています。

—町に望むことは?—  
アウトドアや薪ストーブ、私のような旧車ライフを満喫したいと思っています。子育てや就業だけではなく、幅広く移住のPRをしてみたいか、が、もう少しか。納屋付きの空き家なんて、少しリノベーションすれば素敵なガレージライフが送れると思いますよ!若年層だけではなく、趣味に没頭したい子育てを終えた世代やシニア層にも移住者候補として目を向けていただければと思います。

—多古町に移住を考えている方へ伝えたいことは?—  
多古町には何も無い!何も描かれていない真っ白なキャンバスみたいなところなんです。何をするか(何を描くか)は自分次第です。もちろん、子育て支援など町からのバックアップは万全です。おいしい空気、美味しい作物、静かな環境…そして、その気になれば1時間ほどで都心へ、飛行機で国内各地や世界の都市へもすぐに行ける環境です。静かな環境でアクセス抜群な場所ってなかなかないと思いますよ。何をするかは、あなた次第です!

—多古町に移住してよかったことは?—  
10代の頃から授業そつちのけでアルバイトをし、古い外車に乗り始めました。多古町とその周辺では、渋滞も信号も少ないし、古い車にとってもやさしい環境です。1、2時間くらい走れば銚子、九十九里、内房や筑波山などへ行くことができ、旧車でドライブすることが好きな私にとっては最高の場所です。カーライフを楽しむための移住もありですね。ガレージ内のクルマたちも喜んでいてと思います。

—今後の目標は?—  
旧い車や軽自動車ベースに次世代のカスタムを行う予定です。(詳細はまだ秘密です。笑) スマートタウン多古を目指したいと思っています。

## News & Topics

3月 15日 古民家民泊施設視察  
**大三川邸を内覧**



3月15日、地方創生事業“多古町「農あるまちづくり」プロジェクト”による国の地方創生推進交付金を活用してリノベーションした、令和3年4月オープンの大三川邸(飯笹地区)を議員全員で視察しました。担当課、株式会社マイナビ地方創生の案内で、最大8名まで宿泊可能な母屋や、蔵を改修してキッズルームやシアタールームとなった離れ、敷地の高台にある露天風呂などを見学しました。



〈あて先〉  
●〒289-2292  
多古町多古584 多古町議会事務局  
●FAX: 0479-76-2686  
●メール: t-gikai@town.tako.chiba.jp

多古町議会に対するご意見、町づくりへの提案などをお寄せください。

住所、氏名、年齢をご記入のうえ、郵送、FAX、メールでお送りください。

※頂いたご意見等は「議会だより」に掲載させていただきます。ご了承ください。(掲載に際しては、紙面の都合上、抜粋または要約しての掲載となる場合もあります。また、匿名を希望される場合はその旨お書き添えください。)  
※個人、団体等への誹謗中傷にかかることはご遠慮願います。



~interviewer's eye~

我が多古町でも自動車関連のお仕事をなされている方は多くおられます。なかでも20数年前に移住され、新しいものづくりにこだわり、軽バン・軽トラ専用のリフトアップスプリングの製造を始められ、日々開発に努め、製品化を実現し、「獨創性」・「新規性」・「費用対効果」、そして何より「悪路走破性」が全国のユーザーから高く評価されたことをきっかけに、千葉県ものづくり認定製品に選ばれました。現在は千葉県の認定品として、多古町から全国に販路拡大、また県の防災車両や森林組合など、行政でも採用されており。今回は町内で知る人の少ない、ものづくりにこだわり、全国に向けて多古町から発信している方にスポットをあてました。(橋本孝之委員)